

「魔笛」参考資料のご案内

新国立劇場でのご観劇前に作品に対する理解の一助として、また、観劇後の感動をさらに深めるために、5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介します。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

開室時間：10:00～18:00 月曜休室（祝休日及び主催公演日は他曜日に振替）

公演プログラム

1998/1999 SEASON 魔笛 (1998.5) 2005/2006 SEASON 魔笛 (2006.1)
2000/2001 SEASON 魔笛 (2000.10) 2009/2010 SEASON 魔笛 (2009.10)

参考図書

<楽譜>

Die Zauberflöte	Berenreiter	2005年発行	フル・スコア
Die Zauberflöte	Breitkopf	1985年発行	ヴォーカル・スコア
Die Zauberflöte	Berenreiter	1970年発行	ヴォーカル・スコア

<対訳>

モーツァルト 魔笛（名作オペラブックス 5）

アッティラ・チャンパイ ディートマル・ホラント＝編／音楽之友社 1987年発行
リブレットの対訳から、『魔笛』作曲の経緯、初演時と20世紀の評価、ディスコグラフィまで幅広く網羅した資料集。

モーツァルト 魔笛（オペラ対訳ライブラリー） 荒井秀直＝訳／音楽之友社 2000年発行
台本テキストを数行単位で原語と日本語訳交互に記載。イタリア語の文法解説つき。

オペラ・パロディの世界—もう一つのオペラの愉しみ 立教大学出版会＝編／有斐閣 2007年発行
民衆オペラの駄洒落、語呂合わせ、言葉遊び、替え歌などに挑み、19世紀ウィーンの演劇的祝祭空間に迫った苦心の翻訳集。※『魔笛』のパロディ：カール・マイスル作、須永恒雄訳。

<作品解説>

魔笛 秘教オペラ（新装復刊） ジャック・シャイエ＝著／高橋英男、藤井康生＝訳／白水社 2011年発行
『魔笛』研究の形をとった、ユニークなモーツァルト論。傑作オペラの音楽と台本の両面から徹底的な作品分析を行ない、フリーメイソン秘密結社の伝承を浮き彫りにしながら、その真の全貌を提示する。

モーツァルトとオペラの政治学 三宅新三＝著／青弓社 2011年発行
貴族社会から市民社会への転換期に生きた芸術家モーツァルト。彼のオペラの根底には愛と結婚をめぐる新旧社会の規範の対立や葛藤というエロスの問題が横たわっている。その諸相を『魔笛』を含む七大オペラを通して読み解く。

国立音楽大学 研究紀要 2010 2011年発行
「《魔笛》の帝劇公演(1913)をめぐって—ドイツオペラ受容の一側面—」を特集。

オペラのイコノロジー3 魔笛 <夜の女王>の謎 長野順子／ありな書房 2007年発行
「夜の女王」とザラストロの善悪の立場が逆転するのはなぜか。タミーノの試練を最終的に先導する「夜の女王」の娘パミーナは、多次元を自由に越境する。異界からやってきた二人の女性を軸にすえて、混沌と闇の中で躍動する多層的なイメージと音の世界を読み解く、ユニークな「魔笛」論。

オペラ 魔笛のことが語れる本 モーツァルトとフリーメイソン 金子一也／明日香出版社 2004年発行
『魔笛』はフリーメイソンの啓蒙主義に沿ったコマーシャル・オペラと言われている。『魔笛』の考察により、音楽家としてのモーツァルトはもちろん、「起業家」としての一面も掴み取れる一冊。

『魔笛』 ミヒャエル・ゾーヴァ＝画／那須田淳＝文 講談社 2002年発行
現在、同時代の出版芸術における偉大な魔術師のひとりに数えられるミヒャエル・ゾーヴァ。本書は、彼が1998年にフランクフルト歌劇場で上演されたオペラ『魔笛』のために描いた舞台美術および衣裳草案をもとに構成した。

魔笛—文明史の劇場 塩山千仞＝著 春秋社 1999年発行
オペラ『魔笛』にはモーツァルトの時代観と世界観が如実に表されている。ドラマツルギーの本質を社会史・精神史との関わりで描く。

シカネーダー —「魔笛」を書いた興行師— 原研二＝著 平凡社 1999 年発行

十八世紀のウィーン劇壇を息せき切って駆け抜けた男、エマヌエル・シカネーダー。この天才的興行師にして俳優、台本作家は、ひたすら観客の度胆を抜き、熱狂させることに邁進した。そして、もう一人の天才モーツァルトと出会い、オペラ『魔笛』を我々に残した。スキャンダラスな誇大妄想狂と、彼を持ってはやし忘却した時代を、犀利に軽やかに描く傑作評伝。

『魔笛』とウィーン 興行師シカネーダーの時代 クルト・ホノルカ＝著／西原稔＝訳 平凡社 1991 年発行

モーツァルト最後のオペラの台本作者・パパゲーノ役として名を残したシカネーダーとはどんな人物だったのか。当時の演劇・オペラ事情を背景に、初めてその生涯と実像を明らかにする。

イラストオペラブック 2 魔笛 原研二＝解説／株式会社シヨパン 2006 年発行

オペラの登場人物やあらすじ、見どころなどをイラスト付きでわかりやすく解説。

モーツァルトはオペラ 歌芝居としての魅力をさぐる 西本晃二＝著／音楽之友社 2006 年発行

『魔笛』を含む後期のオペラ 9 作品を、台本から、歌詞、演出、字幕スーパーまで、縦横に論じる。

ロココの裏の欲望 モーツァルトのオペラワールド 永竹由幸＝著／株式会社シヨパン 2006 年発行

優雅、華麗なロココ社会の裏に潜む人間のデモニッシュな欲望をあばいたモーツァルトのオペラ 7 作品の解説。

モーツァルト 魔法のオペラ アニー・パラディ＝著／武藤剛史＝訳／白水社 2005 年発行

緻密な作品分析に加えて、書簡を丹念に読み込み、オペラに呼応する形でひそかに演じられていた実人生の物語を愉快感にあふれた文体で綴ったユニークなモーツァルト論。

モーツァルト オペラのすべて 堀内修＝著／平凡社 2005 年発行

生涯のうちに 22 ものオペラ作品を生み出したモーツァルトは、オペラをどのように考え、そして何を目指したのか。200 年以上にわたり世界中で最も愛されてきた彼のオペラ全作品のあらすじ、聴きどころを紹介した初めての書。

モーツァルトのオペラ ルードルフ・アンガー・ミュラー＝著／吉田泰輔＝訳／音楽之友社 1991 年発行

モーツァルトの 22 のオペラの作曲の経緯、初演から今日までの流れを追うことにより、時代とともに変容するモーツァルトのオペラの全貌を明らかにする。収録写真・図版約 360 点。没後 200 年を記念して出版された。

モーツァルトのオペラ エドワード・J・デント＝著／石井宏、春日秀道＝訳／草思社 1985 年発行

『魔笛』を含むモーツァルトのオペラ 7 作品について、それまでのドイツ的、弁証法的音楽美学から解き放ち、現代的解釈への道をひらいた画期的労作。作品誕生にまつわる数々のエピソードも豊富。

モーツァルト II(作曲家別名曲解説ライブラリー14) 音楽之友社 1994 年発行

<作曲家関連>

モーツァルトとナチス 第三帝国による芸術の歪曲 エリック・リーヴィー＝著／高橋宣也＝訳 白水社 2012 年発行

ナショナリズムと一見無縁なモーツァルトのイメージや作品を、ナチスはいかに政治的に利用していったか。文化の歪曲の実態とユダヤ系音楽家・学者たちの苦闘を、オーストリア併合以前から戦後の軋轢まで、膨大な資料から検証する。

モーツァルトの虚実 その生と死 海老澤敏＝著／ペリかん社 2011 年発行

天才か、遊び人か、はたまたギャンブラーか。その死は、病死なのか他殺なのか。モーツァルトとは何だったのか。社会史の視点をとり入れて描く、生活者としてのモーツァルト像。

モーツァルトの脳 ベルナル・ルシュヴァリエ＝著／藤野邦夫＝訳／生駒忍＝解説／作品社 2011 年発行

「天才脳」の仕組みを最新の脳神経科学で解剖。さらに、人生経験や感情の観点から、本人の手紙や関係者の証言などを読み解き、「天上の音楽」の秘密を明らかにしていく。

新潮選書 恋愛哲学者モーツァルト 岡田暁生＝著／新潮社 2008 年発行

絶対王政の没落と近代市民社会の到来という時代の亀裂の中でモーツァルトのオペラは華ひらき、バロック・オペラの予定調和的な世界を破壊し、男と女のエロスを歌った。《魔笛》を含む五つの傑作群をひとつの「恋愛チクルス」として読み解く、新たな音楽＝文化論。

モーツァルトの廻廊—MOZART CHRONICLE 2006 海老澤敏＝著／春秋社 2008 年発行

とこしえの美しい響きに導かれて…モーツァルト受容の現在。“モーツァルト・クロニクル”最新論集。

モーツァルトの手紙 高橋英郎＝著／小学館 2007 年発行

天才モーツァルトと父レーオポルトとの数百通の書簡を読み解いた大作。モーツァルトが幼少の頃より旅したヨーロッパ各地の地図、旅程表を集録、詳しい人物註付き。

モーツァルトの音符たち 池辺晋一郎の「新モーツァルト考」 池辺晋一郎＝著／音楽之友社 2002年発行
天才モーツァルトの魅力の謎を、人気作曲家・池辺晋一郎が斬新、大胆に説き明かす。『魔笛』に関する記述もあり。

モーツァルト(作曲家◎人と作品シリーズ) 西川尚生＝著／音楽之友社 2005年発行

モーツァルトの生涯 海老沢 敏＝著／白水社 1984年発行

<事典>

モーツァルト百科全書 福島章恭＝著／毎日新聞社 2006年発行

人生の哀しみを珠玉の名曲に結晶させたモーツァルト。その35年にわたる破天荒な生涯をたどりながら、折々に産み落とされた名曲を選びすぐりのCDで堪能する。モーツァルト生誕250周年記念出版。

モーツァルト全作品事典 ニール・ザスロー ウィリアム・カウデリー＝編／音楽之友社 2006年発行
モーツァルトの全作品についての歴史的エッセイを選び集成した、音楽愛好家のための利用しやすい参考書。

モーツァルト大事典 ロビンズ・ランドン＝原著監修／海老沢敏＝日本語版監修／平凡社 1996年発行

公演記録映像

魔笛 (1998.5.10) 【字幕入り】 タミーノ:永田峰雄、パミーナ:大島洋子、夜の女王:菅英三子

魔笛 (1998.5.12) 【字幕なし】 タミーノ:吉田浩之、パミーナ:斉田正子、夜の女王:崔岩光

魔笛 (2000.10.10) 【字幕入り】 タミーノ:永田峰雄、パミーナ:澤畑恵美、夜の女王:崔岩光

魔笛 (2006.1.21) 【字幕入り】 タミーノ:ライナー・トロースト、パミーナ:砂川涼子、夜の女王:佐藤美枝子

DVD

魔笛 ('91 メトロポリタン歌劇場) パミーナ:キャスリーン・バトル、夜の女王:ルチアーナ・セツラ、タミーノ:フランシスコ・アライサ

魔笛 (映画版:'74 スウェーデン、'75 カンヌ映画祭出品) タミーノ:ヨーゼフ・ケストリンガー、パミーナ:イルマ・ウツリラ

魔笛 ('00 チューリヒ歌劇場) タミーノ:ピョートル・ベツチャーラ、夜の女王:エレナ・モシュク、パミーナ:マリッ・ハルテリウス

※「魔笛」、モーツァルト関連資料は他にも多数ございます。お気軽にお問合せください。